

地理 1 第 3 章 世界の諸地域 (2) ヨーロッパ州 <基本問題①>

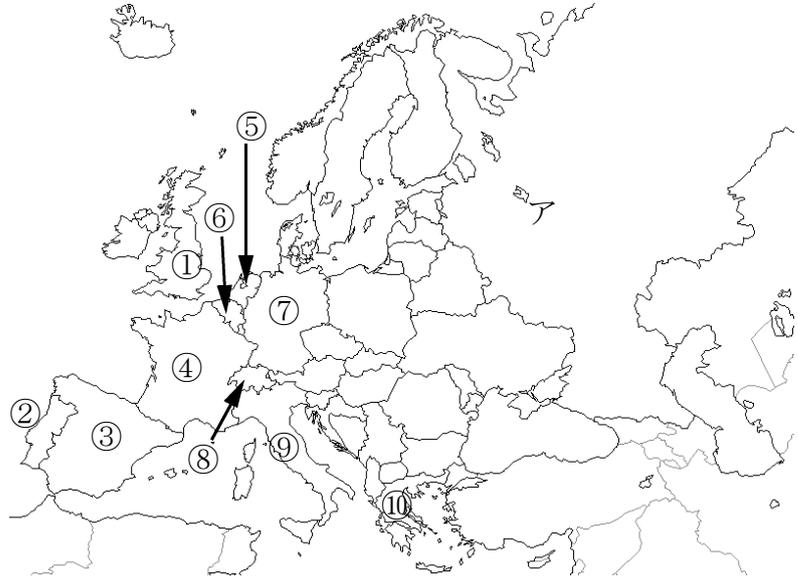
組 番 名前

◎ 右の地図をもとに、問いに答えなさい。

(1) 地図中の①～⑩の国名を答えなさい。

(2) 地図中の①, ④, ⑤, ⑦, ⑨, ⑩の国の首都名を答えなさい。

(3) 世界最小の面積の国名を答えなさい。また、その国はどこどの国と接しているか、地図中の①～⑩の番号で答えなさい。



「Craft Map 日本・世界の白地図」

解答欄

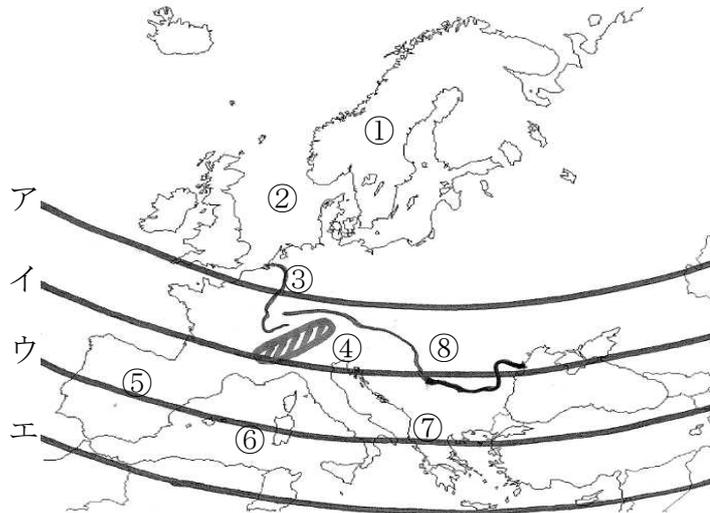
(1)	①	②	③	④
	⑤	⑥	⑦	⑧
	⑨	⑩		
(2)	①		④	⑤
	⑦		⑨	⑩
(3)	世界最小の国名		接している国	

組 番 名前

◎ 右の地図をもとに、問いに答えなさい。

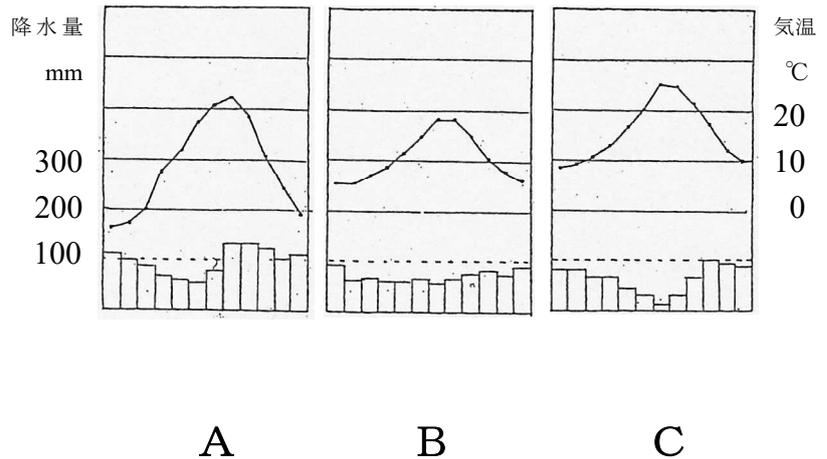
(1) 地図中の①～⑧の名称を下の解答欄に書きましょう。

(2) 日本では北緯40°の緯線は、秋田県の男鹿半島付近を通ります。ヨーロッパでは、北緯40°の緯線は、地図中のア～エのどれにあたるか、答えなさい。



「Craft Map 日本・世界の白地図」

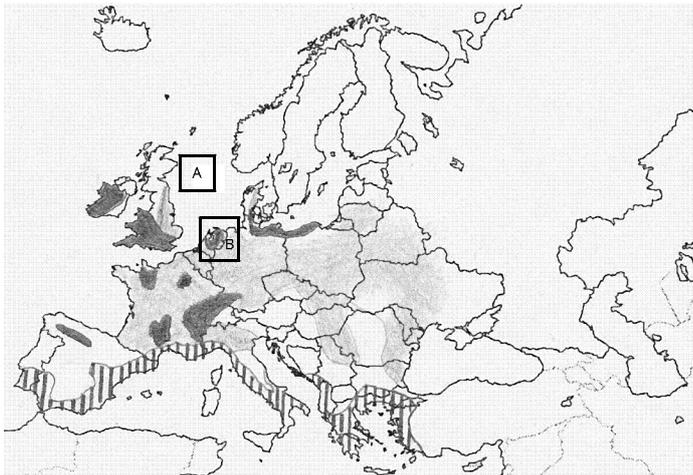
(3) 右のA～Cのグラフは、ロンドン、ローマ、札幌の気温と降水量を示しています。①ロンドン、②ローマはどれか記号で答えなさい。



解答欄

(1)	①	半島	②	海	③	川	④	山脈
	⑤	半島	⑥	海	⑦	半島	⑧	川
(2)								
(3)	①	②						

◎ 地図をもとに、問いに答えなさい。



(1) 左の分布図の

① ② ③

は農業の形態を示しています。

これらの農業をそれぞれ何というか、答えなさい。

(2) 次のア～ウの説明文は(1)の

①～③の農業の特色を述べています。どの農業の説明文か記号で、答えなさい。

「Craft Map 日本・世界の白地図」

ア. 夏にあまり雨が降らないため、乾燥に強いオリーブやオレンジなどの栽培がさかんである。

イ. 小麦を作り、さらに家畜のえさにするとうもろこしなどの飼料作物をつくり、牧畜も行っている。

ウ. 乳牛を飼い、牛乳の生産と共にバターやチーズなどの乳製品を作っている。

(3) 地図中のAでとれる地下資源は何か、答えなさい。

(4) 工場の排煙や自動車の排出ガスが雨や雪に溶けて地上に降り注ぎ起こる現象を何というか、答えなさい。

(5) 地図中のBの工業地帯を何というか、答えなさい。

解答欄

(1)	①	②	③
(2)	①	②	③
(3)		(4)	(5)

◎ 表をもとに、問いに答えなさい。

表 1 世界のブドウの生産国順位 単位 万トン

国	生産量(2017年)
1 中国	1,308
2 イタリア	717
3 アメリカ	668
4 フランス	592
5 A	539
世界計	7,428

表 2 世界のオリーブの生産国順位 単位 万トン

国	生産量(2017年)
1 A	665
2 ギリシャ	272
3 イタリア	258
4 トルコ	210
5 モロッコ	104
世界計	2,087

出典：公益財団法人矢野恒太記念会「世界国勢図 2019/20」により作成

- (1) 表 1 と表 2 の A にはヨーロッパの同じ国が入ります。国名を答えなさい。
- (2) 表 2 で、A 国の生産量は世界の総生産量の約何%になりますか。小数第 1 位を四捨五入して、整数で答えなさい。

解答欄

(1)	(2)	(3)
	%	%

組 番 名前

◎ EUについて、次の問いに答えなさい。

(1) 第二次世界大戦後に、世界におけるヨーロッパの影響力がそれ以前と比べてどう変わったかについて、「植民地」という言葉を使って60字以内で述べなさい。

(2) EU誕生の理由を、「ヨーロッパ諸国」「アメリカ合衆国」「日本」という言葉を使って40字以内で述べなさい。

解答欄

(1)														
														30
														60
(2)														
														15
														30

地理1 第3章 世界の諸地域 ヨーロッパ州(2) <基本問題①・解答>

【解答】

- (1) ① イギリス ② ポルトガル ③ スペイン ④ フランス
⑤ オランダ ⑥ ベルギー ⑦ ドイツ ⑧ スイス
⑨ イタリア ⑩ ギリシャ
- (2) ① ロンドン ④ パリ ⑥ ブリュッセル
⑦ ベルリン ⑨ ローマ ⑩ アテネ
- (3) バチカン(市国) ⑨と隣接

- 【解説】 ○ ヨーロッパ州の主な国の名前と位置，主な国の首都名を問う基礎的な問題です。
- ・ パリは「芸術の都」と言われます。他にも，オーストリアの首都のウィーンは「音楽の都」，イタリアのベネチア(ベニス)は「水の都」と言われます。このように，特徴的な都市も数多くあります。
 - ・ ブリュッセルはベルギーの首都ですが，EUの本部がおかれているところでもあります。
 - ・ バチカン市国は，イタリアの首都ローマ内にある市で，キリスト教カトリック教会の中心地です。

【解 答】

(1)

- ① スカンジナビア (半島)
- ② 北 (海) ③ ライン (川)
- ④ アルプス (山脈)
- ⑤ イベリア (半島) ⑥ 地中 (海)
- ⑦ バルカン (半島) ⑧ ドナウ (川) (2) ウ

(3) ①ロンドン (B) ,
②ローマ (C)

【解 説】○ ヨーロッパ州の地形や気候に関する基礎的な問題です。

- ・ スカンジナビア半島では、氷河によってつくられた複雑な海岸線（フィヨルド）が見られます。
- ・ ライン川やドナウ川のように、多くの国を流れる川を国際河川といいます。
- ・ バルカン半島は、第1次世界大戦の頃に「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれた地域です。現在でも民族紛争や宗教紛争が多く起きています。
- ・ (3) は、気候の特性が理解できていれば解答できます。

地理1 第3章 世界の諸地域 ヨーロッパ州(2) <基本問題③・解答>

【解答】

- (1) ①酪農 ②混合農業 ③地中海式農業
- (2) ①(ウ) ②(イ) ③(ア)
- (3) 石油(原油)
- (4) ドイツ
- (5) ルール

【解説】○ ヨーロッパの農業と鉱工業の知識を確認する問題です。(1),(2)は農業の特色を感覚として理解できているかを確認できる問題です。

地理1 第3章 世界の諸地域 ヨーロッパ州(2) <基本問題④・解答>

【解答】

(1) スペイン (2) 32%

【解説】 ○資料の読み取り能力を問う問題です。

- ・ (2) は 665 (A国のオリーブの生産量) $\times 100$ で求めます。
 2087 (世界のオリーブの生産量)

計算を簡単にするために概算の考えも有効ですが、今回は小数点以下四捨五入という指示のため、あまり極端な概算だと誤答の危険もあるので注意が必要です。67/210くらいの概算が今回は有効でしょう。

地理1 第3章 世界の諸地域 ヨーロッパ州(2) <応用問題①・解答>

【解答】

(1) ヨーロッパ諸国が世界各地に持っていた**植民地**が次々に独立し、世界におけるヨーロッパの政治的、経済的な影響力は低下した。

(50字)

(2) ヨーロッパ諸国は、アメリカ合衆国や日本に対抗するために、EUを発足させた。(37字)

【解説】 ○ EUについて、その登場した歴史的背景について問う問題です。

- ・ (1) は第2次世界大戦後の植民地の独立による国際的影響力の低下を押さえているかがポイントです
- ・ (2) はEU誕生の必然性について歴史的な見地から問う問題です。EUへの理解を深める上で発足の歴史的背景を理解しているかどうかを確認します。

【採点基準】

番号 採点の基準 (1) (文字数)

- ・ 50字～60字で、配点どおりに与える。
- ・ 40字～49字で、配点の8割程度与える。
- ・ 40字未満は、配点の5割程度与える。

(内容)

- ・ 模範解答に近い内容で、キーワード(「植民地」)が含まれていれば点を与える。(2)

(文字数)

- ・ 30字～40字で、配点どおりに与える。
- ・ 25字～29字で、配点の8割程度与える。
- ・ 25字未満は、配点の5割程度与える。

(内容)

- ・ 模範解答に近い内容で、キーワード(「ヨーロッパ諸国」「アメリカ合衆国」「日本」)が含まれていれば点を与える。

地理1 第3章 世界の諸地域 ヨーロッパ州(2) <応用問題②・解答>

【解答】

- (1) ユーロ
- (2) エストニア, ラトビア, リトアニア, ポーランド, スロバキア, ルーマニア, ブルガリアの中から2カ国
- (3) 加盟国内では, **関税**がなくなって物の値段が安く流通が便利になり, 人の**移動**も自由になって, 政治や経済の効果が高いから。(54字)

【解説】

○EUの現状への理解を計る問題とEUのメリットについて, 文章で表現する問題です。
・(3)では「加盟する」と関税(貿易の時にかかる税金)が「どうなるのか」ということ, その結果外国製品が「どうなるのか」ということが押さえられているかがポイントです。さらに, 「人の移動」については, 「自由」とのセットで押さえることが必要です。

【採点基準】

番号採点の基準 (1)「EURO」でもよい。(3)(文字数)

- ・50字~60字で, 配点どおりに与える。
- ・40字~49字で, 配点の8割程度与える。
- ・40字未満は, 配点の5割程度与える。

(内容)

- ・模範解答に近い内容で, キーワード(「関税」「移動」)が含まれていれば点を与える。

【解答】

EU加盟国の国民一人当たりのGDPが一番多いルクセンブルクは、一番少ないブルガリアの1.1倍以上あり、国家間の経済力の格差が大きい。その格差を少なくし、EU全体の経済力を引き上げることが課題である。
(99文字)

【解説】

○ EUについての問題点(悩み、デメリット)を、資料を基に論述する問題です。

- ・ ここでは、指定語句が「1.1倍以上」という言葉であるので、まず、その意味を提示された資料から探さなければなりません。

このような資料を見るとき基礎・基本として、①「タイトル」をみる。②縦軸、横軸をみる。③単位を見る。④統計年度を見る。⑤出典を見る。⑥変化を見る。などが考えられます。

今回の資料は「1人当たりのGDP比較」です。縦軸には国名が、横軸には金額がUSドルの単位で表示されています。このような資料で着目したいのは、一番金額の多い国と少ない国です。

一番多い国はルクセンブルクの111,4千USドルで、一番少ない国はブルガリアの9,7千USドルです。

そこで、この2国を比較して、「 $111,4 \div 9,7$ 」の計算をすると、「1.1倍以上」というキーワードが見つかります。「1.1倍以上」とは、加盟国間の経済力の差(=経済格差)を表しています。

「1.1倍以上」の対象となる2国を「ルクセンブルク」と「ブルガリア」という国名で表記するか、「EU加盟国中、GDPが最大の国と最小の国」という表現などで文章化し、「経済力」という言葉を使って、格差に結びつけて文がまとめられていればよいです。

【採点基準】

採点の基準(文字数)

- ・ 90字～100字で、配点どおりに与える。
- ・ 80字～89字で、配点の8割程度与える。
- ・ 80字未満は、配点の5割程度与える。

(内容)

- ・ 模範解答に近い内容で、キーワード(「1.1倍以上」「経済力」)が含まれていれば点を与える。